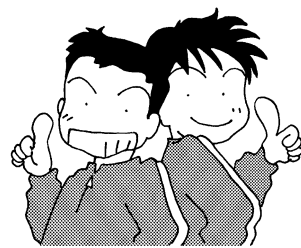


ほけんだより



令和4年12月1日

陽北中学校

No.9

12月1日は世界エイズデー

1 エイズってどんな病気？



エイズとは、私たち人間がもともと持っている**免疫力が**、**HIVというウイルスによって壊される病気**です。そのため様々な病気にかかりやすくなり、**治療を受けないと命の危険**もあります。

かつて「不治の病」と言われていたエイズは、この数年で**治療薬の進歩**により、**一般の人と同じような生活ができる**ほどになりました。しかし**HIV感染を完全に治す治療法は見つかっていません**。そのため一度感染したら、ずっと治療を続けなければなりません。HIVに感染しないよう、**予防をすることが大切です**。

2 HIVは、どうやって感染するの？

HIVに感染した人の**血液や精液、膣分泌液の中に、ウイルスが含まれています**。健康な皮膚(人の肌)にその血液が触れても感染しません。しかし、粘膜(口や鼻の中、性器など)や傷がある皮膚に、ウイルスが含まれている血液が触れると感染してしまう危険性があります。また、**感染者との性行為により感染する場合もあります**。**日常生活で感染を防ぐ**には、次の2つのことに気をつけましょう。

① 他の人の血にさわらない(鼻血も含め、出血の始末は自分です)

→ 自分では気付かない傷があるかもしれないため

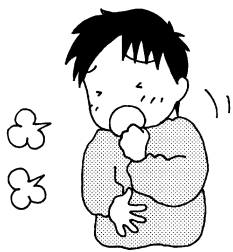
② 歯ブラシやカミソリなどは、他の人の物を使わない

→ 血液が付いている可能性があるため

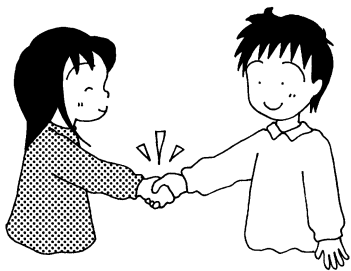


※ **大人になって性行為をするような場合には、必ずコンドームを使用しましう。ほかの方法ではHIV感染症や性感染症を防ぐことはできません。また、不特定の人との性行為は性感染症にかかる危険を増やすことになります。**

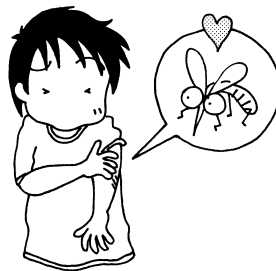
3 こんなことでは 感染しません



咳やくしゃみ・唾液



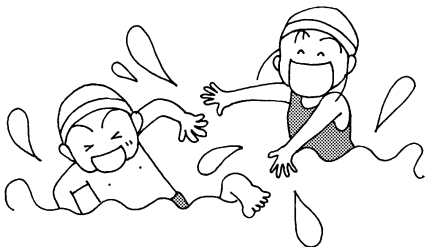
握手



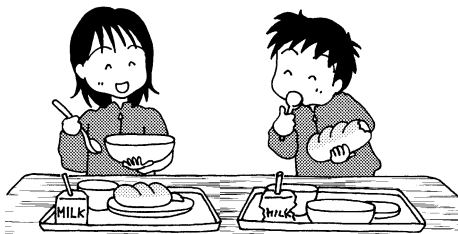
蚊やダニ



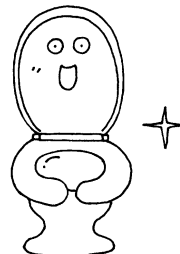
運動中の接触・汗



プール・お風呂



同じ食器



洋式トイレの便座

4 エイズの歴史



今から40年ほど前に、エイズという病気が世の中に知られるようになって来ました。その当時は治療法がなかったため、**エイズにかかった人は、早く亡くなってしまうことが多かった**のです。また、感染の原因もわからなかったため、感染の恐怖から周囲の人々はエイズにかかった人を差別してしまうことが多くありました。特にアメリカでは、最初はゲイの人々が多くかかる病気だったため、ゲイの人々に対する差別はとても激しいものでした。そのためエイズの患者さんは、**病気と差別の2つにより、とても苦しめられる**ことになりました。

しかし今では、**血液の中にウイルスが含まれることや、HIV感染の予防法**がわかっています。（もちろんゲイの人だけがかかる病気ではありません！）**12月1日の世界エイズデーは、エイズをこれ以上広めないことと、エイズに苦しむ人に対する理解と支援を示し、差別や偏見をなくそう**というものです。“**レッドリボン**”がそのシンボルとなっています（私もシトラスリボンとともにレッドリボンをつけています）

病気になりたくてなる人は誰もいないのです。

この機会に**人に対しての思いやりやエイズという病気**について、考えてみましょう。エイズにかかる可能性は誰もが「ない」というわけではではありません。遠い世界のことと思わずに、関心を持ち続けることが大切です。

